

ちびっこギャラリー 花岡 保育所

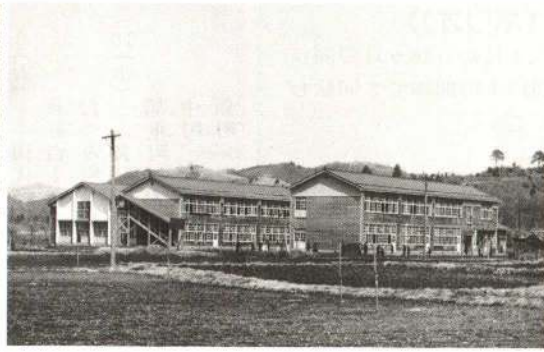
▼わたしとおはな やまもとじゅんこちゃん (4歳)



▼きしやとほく こんどうまさふみちゃん (4歳)



▼わたしとおともだち しらかわれいなちゃん (4歳)



昭和二十七年、学区変更により長木小学校から分れた私たちが、茂内分校から来た友だちたちが待ちに待った雪沢小学校が開校しました。
私の住んでいた新沢から学校までは道路もなく、小坂鉄道の線路を歩いたものです。また開校したといっても運動のできるグラウンドもなく、全校生徒でモッコを担いでの土運び、スコップで土ならしをしてグラウンド造りに汗を流したものでした。そのグラウンドで運動会が開かれたのはその二年後、私が中学生となってからでした。

思い出のアルバム



昭和27年雪沢小 開校の思い出
齋藤茂治さん (黒沢・44歳)

五十九年度、市内で六つの町内会館が建設され、市から五百八十二万四千円が建設費の一部として補助されました。
この事業は、コミュニティ施設としての町内会館を建設し、住民が活発に活動する団体に、建設費の二〇%(限度額百万円)を補助するものです。
五十四年から初められたこの事業を利用し、町内会館を建設した団体は今年三月末で三十二カ所、補助総額は二千六百九十八万円となっています。

数字で見る 大館市
五百八十二万四千円 (町内会館等建設費補助事業)

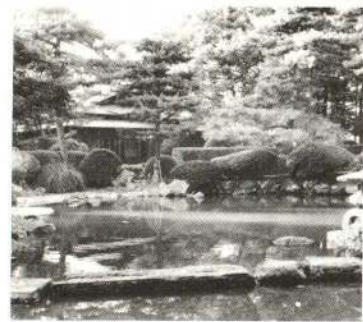


▲先月完成した曲田会館



使用料	9~17時 17~22時	
	9~17時	17~22時
大広間	400円	500円
和室等	100円	150円
暖房料	実 費	

鳥湯会館は、元京都帝国大学名誉教授の鳥湯隆之博士や、無線電話機の発明で世界的に注目された鳥湯右一工学博士、それにヨーロッパにおいて奇術、軽業興業で広く知られた鳥湯小三吉氏の生家にあたります。
建物は三百年余りの歴史を持ち、昭和十一年から約五年の歳月を費し延べ一千人を超える京都の木工、左官、指物師の手により、その一部を補修、増築したものです。また庭園も、京都から造園師を招き、京都鞍馬石を使うなど、京都の情緒豊かな庭園として建物とともに有数の文化遺産といえます。



昭和二十六年に、当時の花岡町へ寄贈され、以後「鳥湯会館」として広く一般に開放されました。敷地面積は約六千八百五十平方メートル、建物面積八百七十七平方メートルで、大広間、和室、茶室、庭園などのほか、古い農具や鳥湯家に伝わる衣類、家具などを展示している郷土資料庫があり、研究会や会議に利用されています。
▽問合せ先 市役所花矢支所 46-2212

施設めぐり ⑨

鳥湯会館

テレホン・リサイクル 婦人会館 ☎49-7028

〈譲ります〉
健康マット、アルミサッシ、半オーバー、編機、灯油タンク、ねんねこ、足踏ミシン、腕時計、カラーテレビ、いす、ベット、石油ストーブ、応接セット、ステレオ、スキー、スキー靴、オーバー、机、電話器、ピアノ、ブラウス、セーター、バック、冷凍庫、ガステーブル、加湿器、女子レインコート、美容洗顔器、瞬間湯沸器、餅つき器、柔道着、重箱、8ミリ一式、仏像、スベリ台、靴(各種)ほか
〈譲ってください〉
スキー靴、編機、スキー、机、アコーディオン、餅つき器、二段ベット、アルミサッシ、ストーブ、瞬間湯沸器、長いす、自転車、冷凍庫、こたつ、ママコート、ベビーふとん、オルガン、ピアノ、柔道着、スキーウェア、ミシン、カバン、2歳男子服、ブランコ、スベリ台、ブーツ、ガステーブル、魚焼器、電話加入権、中学制服スカート、応接セット、卓球台、ステレオ、ベビーカーほか

～3月20日現在～